

## 第4回 IdMにおける共通本人認証基盤の開発研究委員会 議事録

1. 日時：平成25年2月22日(金) 15:00～17:00

2. 場所：一般社団法人 日本自動認識システム協会 B会議室

### 3. 次第：

- |                   |       |              |
|-------------------|-------|--------------|
| 1. 開会の挨拶          | 事務局   | 15:00 ～      |
| 2. 配布資料の確認        | 事務局   | 15:01 ～      |
| 3. 議事             | 半谷委員長 | 15:05 ～16:55 |
| 1) 委員長挨拶          | 半谷委員長 | 15:05 ～10:08 |
| 2) 前回議事録確認        | 事務局   | 15:08 ～10:20 |
| 3) 共通認証基盤システム検討状況 | 中村委員  | 15:20 ～16:20 |
| 4) 報告書案           | 事務局   | 16:20 ～16:50 |
| 5) まとめ            | 半谷委員長 | 16:50 ～16:55 |
| 4. 事務連絡           | 事務局   | 16:55 ～17:00 |
| 1) 今後の日程          |       |              |
| 2) 写真撮影など (適宜)    |       |              |

### 4. 出席者：(敬称略)

- |        |       |                             |
|--------|-------|-----------------------------|
| ・委員長   | 半谷精一郎 | 東京理科大 工学部電気工学科              |
| ・委員    | 中村 敏男 | (株)OKI ソフトウェア 企画室           |
| ・委員    | 山口 利恵 | 産業技術総合研究所 セキュアシステム研究部門      |
| ・委員    | 菊地 健史 | (株)日立ソリューションズ プラットフォーム部 外本部 |
| ・委員    | 福田 充昭 | (株)富士通研究所 ソフトウェアシステム研究所     |
| ・委員    | 吉福 貴史 | 日立オムロンターミナルソリューションズ(株)      |
| ・委員    | 平野 誠治 | 凸版印刷(株) 事業開発・研究本部           |
| ・委員    | 山田 朝彦 | 東芝ソリューション(株) IT技術研究所        |
| ・オブザーバ | 鎌倉 健  | (株)富士通研究所 ソフトウェアシステム研究所     |
| ・オブザーバ | 岩永 敏明 | 経済産業省 産業技術環境局 情報電子標準化推進室    |
| ・事務局   | 酒井 康夫 | (一社)日本自動認識システム協会            |

### 5. 配布資料

- 資料1: 第4回 IdMにおける共通本人認証基盤の開発研究委員会アジェンダ  
 資料2: 第3回 IdMにおける共通本人認証基盤の開発研究委員会議事録(案)  
 資料3: 共通認証基盤システム検討状況  
 資料4: 報告書案

## 6. 議事内容

### 1) 前回議事録確認

事務局より、資料2を用いて、第3回IdMにおける共通本人認証基盤の開発研究委員会議事録を確認し、承認された。

### 2) 共通認証基盤システム検討状況

中村委員より、資料3を用いて、「共通認証基盤システム検討状況」として検証実験内容と結果についてご報告およびプロトタイプシステムのデモンストレーションがあった。

質疑応答と検討を行い、ご報告の内容が今年度の開発研究内容の総括および開発研究における検証実験内容と結果およびその総括として承認された。

ご報告事項は下記。

- (1) 前回報告内容
  - (a) システム構成
  - (b) 検証実施権のイメージ
- (2) BioIDM 実装結果
  - (a) システム構成
  - (b) 取り扱うデータ
- (3) 検証実験結果
  - (a) 実験環境
  - (b) 実験結果
    - 概要
    - 標準構成試験結果
    - 簡易構成試験結果
    - ブラウザ試験結果
    - 国内外 RP 試験結果
- (4) まとめ
  - (a) 基本機能

WSO2 の Identity Server と BioIDM システム (BioIDM Connection、BioIDM Transaction、BioAPI Framework) および日立指静脈認証装置を組み合わせることにより、生体認証を用いた OpenID の SSO システムを構築することができた。
  - (b) 性能測定

認証処理において OP と BP の間の通信処理時間が大きいことがわかった。性能改善の可能性について今後検討する必要がある。

⇒ (質疑後次に修正)

認証処理において UA と OP および UA と BP の間のリダイレクト処理時間が大きいことがわかった。性能改善の可能性について今後検討する必要がある。

(考察が正しいのかについて、後程検証・確認する。)
  - (c) ブラウザと SSL

BioIDM Connection と BioIDM Transaction の間の WebSocket において、現状 SSL が実現されていない。セキュリティ上およびシステム構築上の問題となるため、今後対応する必要がある。

※WebSocket の SSL 対応版が OSS として最近提供されたため BioIDM への組み込みが可能となった。
  - (d) 国内・海外 RP

一部の RP について、本システムとの接続時にエラーが発生した。RP が OP を限定していると思われるケースが多かったが、原因の特定されていないものもあるため、確認が必要である。

(e) 平成25年度作業(案)

- ① 性能改善検討
- ② WebSocket の SSL 対応
- ③ 国内外 RP との接続確認・検証
- ④ ACBio の実装研究
- ⑤ 震災時の本人確認システムの開発 (サブワーキング検討結果)

以上のご報告に対して、次の質疑応答があった。

- ・Q1: 標準構成と簡易構成の差異は何か。
- ・A1: 簡易構成では、標準構成の OP と BP が一つの機能として実装されており、UA を介した OP と BP 間の通信がないこと。
- ・Q2: そういうことであれば、まとめの(b) 性能測定の「認証処理において OP と BP の間の通信処理時間が大きいことがわかった。」のコメントを「UA と OP および UA と BP の間のリダイレクト処理時間が大きい」に修正する必要があると思える。
- ・A2: そう思えるので、修正する。  
また、手許の実験データを用いて、この考察が正しいのかを検証・確認し、後程ご報告する。
- ・C1: ページ14の標準構成と簡易構成の性能測定比較結果は、ブラウザのキャッシュを毎回削除した場合を提示しているので、注記を訂正が必要。
- ・C2: 国内外の RP との接続結果については、信頼性上から見た検討も必要と思われる。今後検討を進めて、報告書の検討結果に追加してほしい。
- ・C3: デモを見ると、評価結果にも報告があったが、全体の認証にかかる処理時間がかかり、遅いという印象を受ける。

3) 報告書案

事務局より、資料4を用いて、報告書の構成案をご提案した。

質疑応答と検討を行い、ご提案の内容で報告書を作成することとなり、3月下旬を目途とし、草案完成後に各委員にメールにて審議いただくこととなった。

7. 事務連絡

1) 来年度の事業および委員会について

事務局より、本事業は来年度も継続して補助を申請しており、もし継続して補助をいただけた場合は事業を継続して実施する予定である。その場合は各委員に引き続き来年度の委員を委嘱させていただきたいと考えているので、ご対応をいただきたいとの依頼があった。

以上